

令和6年7月20日

緑の相談広場  
～緑と花の相談広場～

金沢ばら会  
上野耕司

## バラの夏の上手な過ごし方

梅雨から盛夏は人間もそうですが、バラにとっても最も苦手な時期です。しかし、丈夫なバラたちは猛暑でも耐えられる性質を持っています。その一因は日本に昔から自生する野ばらに接ぎ木してあるからです。野ばらに接ぎ木したバラは日本の気候に合っているため、猛暑でも耐え、よく育ちます。夏場は花を見ることよりも病害虫で葉っぱを落とさないで乗り切ることが最も大事です。葉っぱを落とさずに夏を乗り切れたなら、四季咲き性のバラは秋には春よりも美しいバラを咲かせることができるでしょう。

### バラの葉っぱを落とさないためには

#### 1. 梅雨時の管理

黒星病（黒点病）に侵されない工夫を、路地植えなら、株元に堆肥、稲わらなどのマルチングをして雨による泥ハネを防ぐ等、鉢植えなら長時間、雨に濡れない場所、軒下や車庫などに移動する等

#### 2. 害虫対策

##### ①ハダニ

夏場に気温が高く、風通しが悪いなどの時に発生し、放置すと蔓延し、葉が黄変して落葉し、やがてバラは成長しなくなり、枯れてゆく葉の裏側に肉眼では見えにくい極小の虫がルーペで見える。

##### ②その他害虫ではオオタバコガ、ヨトウムシ、スリップス（アザミウマ）など、

##### ③コガネムシ

夏場に葉や蕾などを食い荒らす。ただし9月中旬にはいなくなる。羽のある虫は退治するのが難しい。

## ばらの避暑対策

1. 鉢植えの盛夏(猛暑)の直射日光は日よけ対策をする。特に正午前後から午後の西日は避けること。スダレ、遮光ネットなど
2. 風通しを良くする工夫(路地、鉢)
  - ア. 株の周りの雑草対策
  - イ. 株の繁り具合を和らげる。そのためには不要な枝の整理。
  - ウ. 密植栽培はしない
3. 鉢植えの高温対策
  - ア. コンクリートやタイルなどの上に直接置かないこと。レンガやタイルなどの上に置き、鉢底の風通しを良くする。
  - イ. 直射日光を避けるため日光側に背の高い植物の鉢を置く。
  - ウ. 場所が可能なら、朝方の日光だけあたり、午前10時か11時ごろから午後にかけて日陰になるような場所なら理想的